

看護職学習支援部門

橋本明浩，原等子，田口玲子，内宮律代，山田正実，飯田智恵，井上智代，須藤陽子
新潟県立看護大学看護研究交流センター 看護職学習支援部門

I. はじめに

平成 19 年 11 月～22 年 3 月まで，文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の委託を受けて，「どこでもカレッジプロジェクト」として，潜在看護師や現職看護師のリカレント学習を推進してきた。学びたい希望をもつ社会人が，場所を選ばずに自由に学びなおすことのできる学習プログラムを用意し活動してきたが，平成 22 年 4 月からは，この通称「どこカレ」（「ドコカレ」とはプロジェクトの略称です）事業を看護研究交流センターの看護職学習支援部門の事業として引き継いでいる。

II. メイト

特にインターネット等で，このプログラムで学習を希望する方はメイトとして受講登録を行っている。（メイトは仲間を意味する「Mate」から）

総登録者数は平成 24 年 2 月 17 日現在 109 人である。

H22 メイト登録者数	18
H23 メイト登録者数	32

III. ドコカレ通信の発行

インターネットにアクセスできないメイトもいることから，メイトさんとの相互コミュニケーションを円滑に行うために紙媒体の「ドコカレ通信」を年 10 回定期刊行している。（資料 1）

IV. 看護職とその周辺関連職種向け専門公開講座

表 1 に開催講座とその満足度を示す。満足度とはアンケート集計結果のうち，内容について問う設問のうち，「非常に良かった」「よかった」の数を集計し，回収数の中で割ったものである。概ね満足度が高い結果となった。

今年度は模擬患者（SP）として活動しておられる佐伯氏（東京 SP 研究会）によるシミュレーション実習，フィジカルアセスメント演習では本学教員による実技演習やグループワークなど，座学だけではなく受講生の積極的な参加による講座を開催した。看護職の継続教育としては，実践に即つながらる演習や他施設スタッフとの意見交換，事例検討などが有意義であり参加者の満足度も高くなる傾向がある。今後もこのような講座形式の導入は有効であると思われる。

また，平成 24 年度の老人看護 CNS コース開設に向けて専門看護師による活動実践紹介の講座を開催し，非常に多くの参加者を得た。今後も大学院教育との連携を視野に入れた講座の開催も考慮していきたい。

表 1 平成 23 年度開催専門公開講座

No.	日時	講座名	講師	参加者数	満足度
1	6月18日(土)	患者の立場から見た 医療者の言葉の使い方	東京 SP 研究会 代表 佐伯晴子	99	92%
2	9月13日(火) 9月14日(水)	看護情報処理セミナー (基本操作, 統計処理等)	新潟県立看護大学 教授 橋本明浩 助教 永吉雅人	8	
3	9月17日(土)	高齢者のエンド・オブ・ ライフケア	青梅慶友病院・ よみうりランド 慶友病院 看護介護開発室長 桑田美代子	204	91%
4	9月20日(火) 9月21日(水)	院内研究発表入門 —研究発表を効果的に 行うために—	新潟県立看護大学 教授 橋本明浩 助教 永吉雅人	8	
5	10月1日(土)	フィジカルアセスメント 講義・演習 (呼吸器/循環器)	はやつクリニック 内科呼吸器科 院長 早津邦広 新潟県立看護大学 准教授 原等子 講師 山田正実	55	80%
6	10月29日(土)	フィジカルアセスメント 講義・演習 (消化器/運動器)	新潟県立看護大学 教授 中野正春 准教授 原等子 助教 飯田智恵	39	74%
参加者数計				415	88%

表 2 年度別参加者数の推移

年度	参加者数
平成 22 年度	264
平成 23 年度	415

V. バーチャルカレッジ利用回数

本学からの利用を除いた利用回数の推移を示す。(図 1 月別 Login 利用回数の推移)

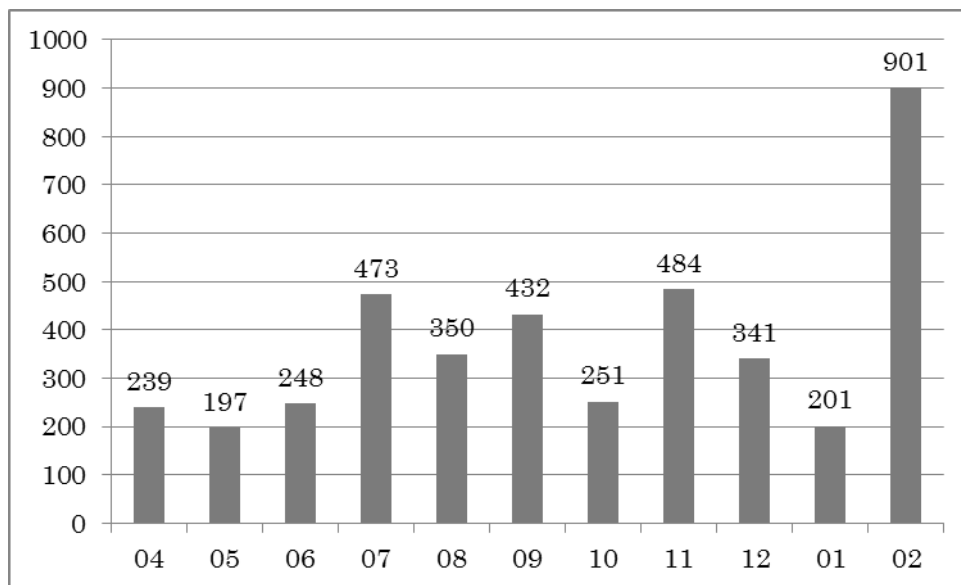


図 1 月別 Login 利用回数の推移

VI. 部門員の構成

以下に部門員の職位と領域を示す。一部領域を除いて全領域にわたる。

表 3 部門員の構成と職位

領域	職位	氏名
基盤科学領域 情報科学	教授	橋本明浩
地域生活看護学領域 老年看護学	准教授	原 等子
地域生活看護学領域 精神看護学	准教授	田口玲子
臨床看護学領域 母性看護学	講師	内宮律代
臨床看護学領域 成人看護学	講師	山田正実
臨床看護学領域 成人看護学	助教	飯田智恵
地域生活看護学領域 地域看護学	助教	井上智代
臨床看護学領域 成人看護学	助手	須藤陽子

資料1—どこカレ通信

第7号 2011/04/30

どこカレ通信

新潟県立看護大学の「どこでもカレッジプロジェクト」では、看護師の学び直しを支援します。公開講座では、看護師の方だけでなく、介護職等の医療福祉専門職の方や関心をお持ちの一般のご参加もお待ちしております。

東日本大震災により被災されたみなさまに対し、心よりお見舞い申し上げます。
 新しい年度を迎え、日ごとに温かくなっていますが、急に冷え込むこともあります。風邪をひかないよう、皆さま体調管理にご留意下さい。

ご案内

- 今年も「どこカレ」を宜しくお願い致します。多くのメイトさんのご参加をお待ちしております。今後の予定は、交流センター事業案内パンフレット、どこカレホームページ等でご案内いたします。
- どこカレ通信6号(2011年2月発行)でご案内したとおり、好評をいただいております。どこカレの事業としての「大学の授業公開」は昨年度で終了となりました(裏面を参照)。大学の講義を受講したいという方のために、「聴講生」と「科目等履修生」という制度がございますので、今後はそちらをご活用いただければ幸いです。詳しくは、大学事務局教務係(☎025-526-2811)までお問い合わせ下さい。
 … 現在、聴講生として2名、科目等履修生として1名の方が大学の授業に通っておられます。

※ **バーチャルカレッジ・公開講座・病院実習**は今まで通りです。ぜひご参加下さい。

今後の公開講座情報(会場:本学)


☆ **どこカレ公開講座**
 (看護・医療の専門職者向けの講座です)

6月18日(土) 13:00~15:00
 テーマ:「患者の立場からみた
 医療者の言葉の使い方」


講師:佐伯 晴子 氏(東京SP研究会代表)

… 忙しい医療現場では患者さんやご家族は「話を聞いてもらえない、正しく理解してもらえない。説明がわかりにくい」と感じる場合があります。どうすればコミュニケーションで信頼を高めることができるのか、患者や一般市民の立場から「話が通じる」ために必要なことを考えます。

~~どちらか~~ メイト登録されていない方でも参加できます。皆さまお話し合わせのうえ、ぜひご参加ください。メイト登録も随時受け付けています。



編集後記:初々しい新入生を迎え、1年の中で大学が最もにぎやかな時がやってきました。公開講座も順次開講されますので、みなさまにお会いできることを楽しみにしています。
 (大学教員:飯田・須藤)



「看護研究交流センター」の事務員が変わりました。星野・吉田が担当いたします。不慣れな点もございますが、よろしくお願いたします。何かご不明な点がございましたら、下記の連絡先をお願いします。

連絡先:新潟県立看護大学 看護研究交流センター(事務員:星野・吉田 / 受付時間:平日9:30~16:00)
 〒943-0147 上越市新南町240 電話:025-526-2822(直通・FAX兼)
 Eメール: dokokare@nigata-cn.ac.jp ホームページ: http://dokokare.nin.jp/

第8号 2011/6/30
どこカレ通信



梅雨に入ると、おひさまが待ち遠しいですね。梅雨の晴れ間は、雨で大気の汚れが洗われ、空気が澄んでいるといわれます。今年は、節電の影響で街の照明も落とされています。忙しいひと時、ゆっくり星空を眺めるいい機会になりそうです☆

今後の公開講座

★どこカレ公開講座

① 9月13日(火)、9月14日(水)

「看護情報処理セミナー」

新潟県立看護大学

教授 橋本明浩 助教 永吉雅人

日常生活の中で利用する看護情報をより効果的に処理することを目的として、習熟の程度に応じて学習できるようにプログラムしました。

② 9月20日(火)、9月21日(水)

「院内研究発表入門

—研究発表を効果的に行うために—

新潟県立看護大学

教授 橋本明浩 助教 永吉雅人

*わかる発表、ためになる発表

院内の研究発表をテーマとして、パソコンを活用した発表をより効果的に行うことを目的に学習できるようにプログラムしました。

①、②は、事前学習は不要です。また、レベルは初級から中級を想定していますが、初心者の方も大歓迎です。各講座とも定員は11名で、全日程参加可能な方が優先されます。

③ 9月17日(土)

「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」

青梅慶友病院・よみうりランド慶友病院

看護介護開発室長 老人専門看護師

桑田 美代子

老人専門看護師の立場からみてきた多くの「若い」と「死」と「生」に関する話題から、今後の高齢者ケアへのヒントを探ります。

近況報告

6月18日(土)「患者の立場から見た医療者の言葉の使い方」(講師：東京SP研究会 代表 佐伯晴子氏)の公開講座に99名のご参加がありました。ありがとうございました。

講義やロールプレイ、模擬患者との医療面接場面の実演を通して、受講生の方から「普段のコミュニケーション技術と患者が理解できる説明の工夫について考えさせられた」、「話を聞く姿勢、困った時の仕草など普段気づけないことを認識した」などの感想が寄せられました。



おしらせ

- ・新潟県立看護大学大学院では、平成24年度の看護学研究科看護学専攻(修士課程)の学生を募集しています。お問い合わせは、新潟県立看護大学 教務学生課 教務係までお願いします。

編集後記

銀色の太陽が乾いたアスファルトに濃い影を落としています。まだ6月だというのに真夏のような暑さですね。“節電熱中症”にならないよう、早めの休憩と水分・塩分補給を欠かさず、この夏を乗り切りましょう!(星野)



連絡先：新潟県立看護大学 看護研究交流センター(事務員：吉田・星野)

Tel & Fax：025-526-2822(平日9:30~16:00)

E-mail：dokokare@niigata-cu.ac.jp

ホームページ：http://dokokare.nirin.jp/

第9号 2011.8.1
どこカレ通信

新潟県立看護大学看護研究交流センター
「どこでもカレッジプロジェクト」では
看護師の学び直しを支援します。

今年は梅雨明けも早く、暑い日が長く続き
そうです。供給電力不足が懸念されている
ので、本当に必要なものに電力を
回せるよう協力したいですね。
熱中症対策を万全に、賢く節電
し、適度にエアコンも使いなが
ら夏を乗り切りましょう！



今後のどこカレ公開講座

①「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」

9月17日(土) 13:00-15:00

青梅慶友病院・よみうりランド慶友病院

看護介護開発室長

老人専門看護師 桑田 美代子 氏

老人専門看護師の立場か
ら見てきた多くの「若い」
「死」「生」に関する話題
から、今後の高齢者ケアへ
のヒントを探ります。



②「看護情報処理セミナー」

9月13日(火) -14日(水) 10:00-16:10

③「院内研究発表入門 -研究発表を効果的に-

9月20日(火) -21日(水) 10:00-16:10

日常生活の中で利用する看護情報の処理、院内の研究
発表をテーマとしてPCを活用した発表について、より効
果的に行うコツを学習します。

新潟県立看護大学

教授 橋本 明浩 助教 永吉雅人

※ ②、③ともに定員まで残り若干名となっております。全
日程参加可能な方が優先されます。初級から中級レベル
を想定していますが、初心者の方も大歓迎です。

④「フィジカル・アセスメント 講義・演習」
(呼吸器/循環器)

10月1日(土) 10:00-15:30

新潟県立看護大学 医系・看護系教員、ほか

呼吸・循環器系のフィジカルアセスメントの技術アッ
プを目指します。摂食・嚥下障害、肺炎予防に関連し
た身体の構造と機能、病態生理を講義で再確認し、演
習では、①呼吸・循環、②嚥下機能に焦点を当てたア
セスメントを学習します。

⑤「フィジカル・アセスメント 講義・演習」
(消化器/運動器)

10月29日(土) 10:00-15:30

新潟県立看護大学 医系・看護系教員

腹部・運動器系のフィジカルアセスメントの技術アッ
プを目指します。転倒予防や筋力低下、便秘や排便障
害に関連した身体の構造と機能、病態生理を講義で再
確認し、演習では、①運動機能、②便秘や下痢に焦点
を当てたアセスメントを学習します。

※ ④、⑤のどちらか一方の参加も
歓迎致します。両日に参加を希
望される方は、忘れずにその旨
お申し付け下さい。
申し込み者多数の場合には、先
着順とさせていただきます。



お知らせ

- ・新潟県立看護大学大学院 看護学研究科 平成24年度の大学院生(修士課程)を募集しています。
- ・新潟県立看護大学 看護学部看護学科 平成24年度入学者選抜要項が公表されました。
- ・8/3(水)、8/23(火)にオープンキャンパスが開催されます。施設見学の他、体験学習(模擬授業・演習)や進学相談もありますので、この機会に本学の様子をご覧ください。
- ・いずれも詳細については、大学HP(<http://www.niigata-cn.ac.jp/>)をご覧ください。大学事務局 教務係(025-526-2811)までお問い合わせください。

連絡先:新潟県立看護大学 看護研究交流センター(事務員:星野・吉田 / 受付時間:平日9:30~16:00)
〒943-0147 上越市新南町240 電話:025-526-2822(直通・FAX兼)
Eメール: dokokare@niigata-cn.ac.jp ホームページ: <http://dokokare.nin.jp/>

第10号 2011 10/20
どこカレ通信

新潟県立看護大学看護研究交流センター
 「どこでもカレッジプロジェクト」では
 看護師の学び直しを支援します。



朝晩めっきり寒くなりましたが、いかがお過ごしでしょうか？ お店の軒先には、秋の味覚もだいぶそろい始めました。食欲の秋到来です。旬の食べ物をおいしくいただける感謝をかみしめつつ、元気に過ごしたいものですね♪

近況報告	今後のどこカレ公開講座
<p>9月に入り、どこカレ公開講座が4回開催されました。多数のご参加ありがとうございました。各回とも内容が充実し、大盛況のうち終了しました。下記の感想が寄せられました。</p> <p>★ 9月13日(火)、14(水) 「看護情報処理セミナー」 講師：本学 教授 橋本明浩、助教 永吉雅人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの裏技を知ることができた気がします。現場を離れてとても有意義な時間を過ごすことができた。 <p>★ 9月17日(土) 「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」 講師：青梅慶友病院 看護介護開発室長 桑田美代子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「老人看護とは“あいまいの中でいかに立ってられるか”だと思ふ」という言葉が印象的でしたし、老人看護に携わる者として力をもらいました。 <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <p>★ 9月20日(火)、21日(水) 「院内研究発表入門」 講師：本学 教授 橋本明浩、助教 永吉雅人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの資料作りが必要なこと、ダメなことが聞けて良かった。今度作る時に参考しながらやってみたいと思った。 <p>★ 10月1日(土) 「フィジカルアセスメント - 呼吸・循環系」 講師：はやつくりクリニック内科呼吸科 院長 早津邦広氏 本学 准教授 原等子、講師 山田正実、他本学教員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床の場で丁寧な聴診が重要であることを改めて実感しました。 ・喉頭蓋がどのようなしくみで蓋をするのか分かり、摂取されるとゴロゴロされるのが分かって、(解剖学的) 食事介助ができそうです。 	<p>10月29日(土) 「フィジカルアセスメント - 腹部・運動系」 講師：本学 教授 中野正春 准教授 原等子 助教 飯田智恵 他本学教員</p>
	新規教材のおしらせ
	<p>6月18日に開催された公開講座 「患者の立場から見た医療者の言葉の使い方」 (講師：東京SP研究会 代表 佐伯晴子氏) が パーチャルコンテンツ化されました。Web を 利用して、講座を学習することができます。</p>
	再就職をお考えの方へ
	<p>潜在看護師の方の再就職支援の一環として 「病院実務実習」があります。病院での看護 業務の見学並びに実際に看護技術を体験する ことで、知識・技術の再習得を図り、再就職に むけての自信をつけていただくことを目的に しています。 <実習ご希望の方は> 11月未までに看護研究交流センターへ、 ご連絡下さいませよう宜しくお願い致します。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

連絡先：新潟県立看護大学 看護研究交流センター（事務員：星野・吉田 / 受付時間：平日 9:30~16:00）
 〒943-0147 上越市新南町 240 電話：025-526-2822（直通・FAX 兼）
 Eメール：dokokare@nigata-cn.ac.jp ホームページ：http://dokokare.nirinj.jp/

資料2 公開講座「患者の立場から見た医療者の言葉の使い方」案内

新潟県立看護大学 看護研究交流センター 看護職学習支援部門

「どこでもカレッジ」～公開講座～

**患者の立場から見た
医療者の言葉の使い方**

※申し込み締切 6月11日(金)

日時 2011年6月18日(土) 13:00～15:00
場所 新潟県立看護大学 第2ホール
(上越市新南町240番地 県立中央病院となり)

*** 受講料無料**

講師紹介
東京SP研究会
佐伯 晴子

コミュニケーションに対する能力を重視した教育が始まっています。その代表としてOSCE(オスキーと読みます・客観的臨床能力試験)という医学部歯学部4～5年学年向けの試験が全国で導入され、また、看護を含めた医療職全体でも患者さんとのコミュニケーションを改善するための演習が増えています。

その練習の相手をつとめる患者役が模擬患者(Simulated Patient またはStandardized Patientを略してSP)です。

このSPの日本での第一人者が東京SP研究会代表佐伯晴子先生です。佐伯先生から概念の講義の他、実習を行い「患者の立場から見た医療者の言葉の使い方」を習得します。

受講希望については、看護職の方を優先しますが、医療福祉関係者からの参加も歓迎します。

<会場までの地図>



高田駅前案内所または本町4丁目から「中央病院行きバス」または「上牧・宇津の俣行きバス」に乗車(所要時間13分)、看護大学下車

講師紹介
東京SP研究会 代表。1995年にいち早く東京SP(模擬患者)研究会を設立。2000年から弘前大学医学部、北里大学医学部常勤講師、2001年から東京慈恵会医科大学。2002年から群馬大学非常勤講師、昭和大学客員講師、東邦大学客員講師、2004年から東京医科歯科大学非常勤講師。全国自治体病院協議会、国民健康保険診療所協議会共催の新医師研修指導医講習会講師。2002年から厚生労働省医薬食品安全対策医療用具部会委員。2003年から日本医学教育学会理事。(著者紹介から)

著書
・あなたの患者になりたい―患者の視点で語る医療コミュニケーション(2004、医学書院)
・行動目標達成のための「医療面接」ポイント50(日本医療企画)
・話せる医療者―シミュレイテッド・ペイシエントに聞く(医学書院)等多数

申し込み・問い合わせ先
※締切 6月11日(金)
新潟県立看護大学
看護研究交流センター
TEL/FAX 025-526-2822
受付時間 平日9:00～16:00
時間外 代表025-526-2811



新潟県立看護大学 看護研究交流センター 看護職学習支援部門

公開講座

高齢者のエンド・オブ・ライフケア

日時 9月17日（土） 13:00～15:00

場所 新潟県立看護大学 第1・2ホール

（上越市新南町240番地 県立中央病院となり）

※申し込み締め切り 9月9日（金）

参加費無料

看護職の方に限らず、保健・医療・福祉職の方、
また、一般の方のご参加もお待ちしております。



日本はこの世界に先駆けた超高齢社会です。この超高齢社会において高齢者の生活の質をいかに向上できるかが私たちの課題です。高齢者が健やかに生き、そして幸せな死を迎えることができること、それは私たちの未来の希望につながります。どのように人生の終末期「エンド・オブ・ライフケア」を「生きるか」、理想的な終末期とはどのようなものなのか。

今回は、日本の高齢者医療をリードする老人看護専門看護師の桑田先生をお招きします。是非、一緒に考えてみませんか？



講師 青梅慶友病院・よみうりランド慶友病院 看護介護開発室長

桑田 美代子 氏 老人看護専門看護師

高田駅案内所または本町4丁目から「中央病院行きバス」または「上牧・宇津の俣行きバス」に乗車（所要時間13分）看護大学下車。



<お申し込み・お問い合わせ先>

新潟県立看護大学 看護研究交流センター

電話・FAX 025-526-2822（平日 9:00～16:00）

E-mail dokokare@nigata-cn.ac.jp

資料4ー バーチャルカレッジ

